

2023 ライラックチャレンジ 新体操男子個人競技 レベル別規則

日本体操協会競技規則および採点規則一部改定を適用する。ただし次のレベル別規則を優先とする。

レベル	種目数	構成加点について	難度の詳細について	構成点（満点）	実施点 (満点)	参加制限
レベル 8	4	・ D + 2.0、C + 1.5、B + 1.0。 ・ 難度の数は自由。ただし、徒手は B 難度以上で構成加点とする。 ・ 追加の加点として D 難度の数の加点は行わない	高体連一部競技規則に準ずる。	加点方式	～10.0	制限なし
レベル 7	2	・ D + 2.0、C + 1.5、B + 1.0。 ・ 難度の数は自由。ただし、徒手は B 難度以上で構成加点とする。 ・ 追加の加点として D 難度の数の加点は行わない	高体連一部競技規則に準ずる。	加点方式	～10.0	制限なし
レベル 6	2	・ D + 2.0、C + 1.5、B + 1.0。 ・ 難度の数は自由。ただし、徒手は B 難度以上で構成加点とする。 ・ 追加の加点として D 難度の数の加点は行わない	ジュニアルールを採用する。	加点方式	～10.0	制限なし
レベル 5	2	・ C + 1.5、B + 1.0。 ・ 難度の数は自由。ただし、D 難度を行っても C 難度として扱う。また、徒手は B 難度以上で構成加点とする。 ・ 追加の加点は独創性と視野外の投げ上げや受け取り、手以外での投げ上げや受け取りが入っていた時。	高体連一部競技規則に準ずる。	加点方式	～10.0	制限なし
レベル 4	2	・ C + 1.5、B + 1.0。 ・ 難度の数は自由。ただし、D 難度を行っても C 難度として扱う。また、徒手は B 難度以上で構成加点とする。 ・ 追加の加点は独創性と視野外の投げ上げや受け取り、手以外での投げ上げや受け取りが入っていた時。	ジュニアルールを採用する。	加点方式	～10.0	制限なし
レベル 3	2	・ B + 1.0。 ・ 難度の数は自由。ただし、C 難度以上を行っても B 難度として扱う。また、徒手は B 難度以上で構成加点とする。 ・ 追加の加点は独創性と視野外の投げ上げや受け取り、手以外での投げ上げや受け取りが入っていた時。	ジュニアルールを採用する。	加点方式	～10.0	制限なし
レベル 2	1	・ B + 1.0。 ・ 難度の数は自由。ただし、C 難度以上を行っても B 難度として扱う。また、徒手は B 難度以上で構成加点とする。 ・ 追加の加点は独創性と視野外の投げ上げや受け取り、手以外での投げ上げや受け取りが入っていた時。	ジュニアルールを採用する。	加点方式	～10.0	制限なし
レベル 1	徒手	・ 日本体操協会 個人徒手ルールに準ずる	ジュニアルールを採用する。	加点方式	～10.0	制限なし

- (1) レベル 2、レベル 3 に出場する選手は、スティック・リング・ロープ・クラブから 1 種目を選択すること。
(2) レベル 4、レベル 5 に参加する選手は、スティック・ロープから 1 種目、リング・クラブから 1 種目を選択すること。
(3) レベル 2、レベル 3 で上位 3 位になった選手は、次の年は上のレベルに出場しなければならない。（R5 年度開始）

2023 ライラックチャレンジ 新体操男子団体競技 規則

日本体操協会競技規則および採点規則一部改定を適用する。

レベル	種目	必要難度について	難度の詳細について	構成点（満点）	実施点 (満点)	参加制限
レベル 2	徒手	D 難度を 1 つ以上、C 難度を 3 つ以上、B 難度を 2 つ以上入れなければならない	高校・一般の部については高体連一部競技規則に準ずる。	～10.0	～10.0	制限なし
レベル 1	徒手	D 難度を 1 つ以上、C 難度を 2 つ以上、B 難度を 2 つ以上入れなければならない	小中学生の部についてはジュニア規則に準ずる。	～10.0	～10.0	制限なし